ともえ 2040

発行：みよし学園コミュニティ・スクール
（事務局：市立三次中学校）
令和６年８月１日
No. 53

河内小伝統　西城川での「川下り」
～５・６年生「わくわく宿泊体験活動」～

７月２３日、２４日に５、６年生が「わくわく宿泊体験活動」を行いました。河内小学校は完全複式学級なので、修学旅行と宿泊体験活動を隔年で実施しており、本年度は「わくわく宿泊体験活動」の年でした。

体験活動のメイン活動は、河内小学校伝統の「いかだ下り」です。毎年、住民グループ「かっぱ道場こうち」の皆さん、地域・保護者の皆さんなど、たくさんの方々が運営にかかわって実施してくださっています。実施するにあたり、子どもの命を守ることを最優先に運営方法を考えて、綿密な計画と準備をして臨んでくださっています。

「西城川で遊ぶ楽しさや面白さを思いっきり感じて欲しい。子どもはこんな体験が楽しいんじゃけぇ～。でも一歩間違ったら川は怖いところ。その怖さも知って欲しい。」という思いで続けてきてくださっており、これからも長く続けていけるようにと、今年新たにスタッフとして加わってくださった保護者・地域の方もいらっしゃいます。

川下り当日は、朝９時に出発。たくさんの地域・保護者の方々に見守られながら子ども達は西城川での「いかだ下り」を体験することができました。最初は、少し不安そうにしていた児童も、「とても楽しかった！また来年体験するのが楽しみになった！」と笑顔で話してくれました。陸上から見る西城川の景色も、水上から見ると違った景色がたくさん見られたようです。携わってくださった皆さん、陸上から応援してくださった皆さんありがとうございました。

きんさい祭　どんちゃんで参加　　三次小

７月２７日（土）にきんさい祭が開催され、４年生が、オープニングで演舞を行いました。児童は、大勢の人の前で緊張していましたが、元気よく演舞を披露することができました。

総合的な学習の時間を中心に、地域の皆様にご協力いただきながら取り組み始めて３年。今回のきんさい祭で使った平胴・チャンチキは、青少年育成三次町民会議の呼びかけのもと、地域の皆様のご協力のもと、「三次市市制施行２０周年記念事業」を活用して用意してくださったものです。新しい楽器を手に、児童は休憩時間を使って練習を重ねてきました。かっこいい４年生に続けと、今、３年生も練習に取り組んでいます。

熱心に指導してくださった天野芳明様をはじめ三次太鼓のみなさま、地域の皆様のご支援・ご協力に感謝します。児童も地域の皆様も笑顔輝く祭、児童にとって忘れられない「きんさい祭」になりました。

「働くこと」を体験し自らの生き方を考える　三次中

～職場体験学習に取り組みました～

２年生で、職場体験学習に取り組みました。キャリア教育の取組の一つとして、「働くこと」を実際に体験し、気付いたことを通して、自らの将来に向けての生き方を考えることを目的にして行いました。事前学習として、「職業人講話」と題し、吉村信行先生（まるよし交通）、吉川順一郎先生（JA ひろしま）、柘植洋子先生（広島三次ワイナリー）の３名の方をお招きし、働くことの意義や勤労の尊さについて、普段のお仕事やご体験を通して話していただきました。職場体験学習は７月３０日（火）から８月１日（木）までの３日間、三次町・河内町の２２箇所の事業所の皆様に生徒を受け入れていただきました。体験中には生徒にとって驚くことや難しいことも多くありましたが、しっかりと指導していただきました。実際に体験することでしか得られない学びがあり、貴重な機会でした。地域の皆様の全面的なご協力に感謝します。

＜生徒の振り返りから＞　僕が職場体験を通してわかったことは、やりがいを感じると同時に難しい仕事だということです。ですが、自分自身のコミュニケーション能力の成長も感じられて、とても良い経験となりました。職場体験で学んだコミュニケーション能力をこれからの活動に生かしていきたいと思っています。

「ともえ 2040」へのご意見やご感想，子育てやまちづくりに関するご意見等を自由にお寄せください。
【問い合わせ・意見送付先】市立三次中学校　TEL 0824-62-2896　FAX 0824-62-2899
E-mail miyoshi-j@school.miyoshi.hiroshima.jp